第十六回りんり俳句大賞　投句用紙【高校生用】

★応募に関する注意点★

※最大5名の生徒を一組とし、一組につき一人の先生の投句（一句もしくは二句）が必要です。
※本人が創作した未発表の作品とし、一期につき一人二句以内とします。
※作品の著作権は当財団に帰属するものとし、返却はいたしません。

★りんり俳句創作のワンポイントアドバイス★

俳句は、言葉一つで全然違う様相を見せます。
「て・に・を・は」とはよく言いますが、これが一つ違っただけで俳句の内容は大きく変わります。
俳句は十七文字の世界で、なおかつそこには季語という確固たる主役がいますので、簡潔明瞭で新鮮味のある言葉を自分で探してみることが大切です。言葉の表面的なところだけをなぞらず、いかに自分の言葉として表現できるかどうかが肝心なところです。ぜひ挑戦してみて下さい！

★次の七月から十月の季語を参考に、自由に俳句を作ってみましょう★

七夕（たなばた）　迎え火　墓参り　法師蝉　残暑（ざんしょ）　夜長（よなが）　流星　台風
天高し　案山子（かかし）　蜻蛉（とんぼ）　秋の雲　小鳥来る　林檎　蕎麦　秋深し

キリトリ

【投句用紙】　第十六回・二学期の部（高校生用）

●部　門（・高校生　・教師）（〇で囲む）　　担当教師名（　　）

（都道府県）　学校名 （　　）	学校	学年　　年
ふりがな 氏名		性別　男・女

〇出来るだけ漢字を使い、間を空けずに書いて下さい。

締切　二〇一七年十月末日（必着）